



左:富山城前の歩道(石垣が崩れたほか地割れが発生し、一部利用ができなくなった。)、上:液状化が発生し、噴出した砂跡が残る。右下:森家休館(R8年度以降の予定)

富山市における地震被害と復興の現状

能登半島地震によって、富山市では全壊から一部破損も含めて計 2,885 件の住家被害があり、一部の地区では液状化現象も発生した。地震発生から 6 か月が経過しようとしているが、市内では地震の影響が一部残っている。例えば、重要文化財の森家は耐震補強工事が必要となったほか、市役所展望台も一時的に閉鎖(4月に再開)された。更に、地域の商店や商業施設においては、復旧をあきらめて閉店した店舗も存在する。

その一方で、桜の名所として親しまれている松川沿いの市道では5月から車が通行可能になるなど徐々に復旧が進んでいることも確かであり、復興に向けて進んでいきたい。

【所属機関・連絡先】

富山大学 都市デザイン学部 土屋泰樹

Tel : 076-411-4885 E-mail : ytsuchiya@sus.u-toyama.ac.jp